

尾張南支部

安全衛生講習会

尾張南支部（金田英和支部長）の安全衛生講習会が2月20日（水）に行われました。午前9時30分にアイプラザ半田駐車場に会員17名が集合して豊田ケミカルエンジニアリング（株）半田工場に向かいました。同社到着後、研修室にて金田支部長より挨拶があり、続いて代表取締役 林 由浩氏より「これまで労働災害を無くし安全衛生に努めてきましたが、過去2回労働災害事故が発生しました。それを受けて『豊ケミセイフティーP J（プロジェクト）』を発足し、本日まで労働災害ゼロを2,493日間を継続しております。これは全社一丸となり地道に安全衛生に取り組んだ成果と考えますので、本日ご紹介させていただき皆様方の一助となることを願っております。」と挨拶がありました。



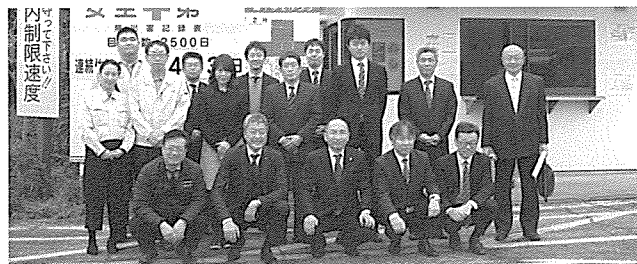
挨拶をされる
林代表取締役

講習会は会社紹介のビデオ映像を見た後、コーポレート部安全推進グループ係長格 豊田誓司氏より、これまでの安全衛生活動の取り組み事例の紹介がありました。



講話をされる豊田安全
推進グループ係長格

社内に安全衛生委員会を設置し、2004年に労働安全衛生マネジメント（OSHMS）を認証取得して労働災害の防止に取り組み、事故の発生数は減少傾向となりました。しかし2008年頃から小さな事故が起り始め、2014年に協力会社による準重大災害が発生しました。同年この災害を教訓として「豊ケミセイフティーP J」が発足。同社における三つの作業は、①構内作業（通常操業における作業）②外注作業（設備工事作業）③請負作業（トヨタG等における請負作業）、の三つの観点から安全活動を開始し、6か月を1クールとして現在も継続中。豊環倶楽部安全活動では、上記①②は弊社設備に固有の課題、OSHMS活動の



改善等の内容。③請負作業として“業務請負会社＝^{とわ}豊環倶楽部”と共に安全活動を実施し、主要協力会社8社で構成されています。第1次活動の中では、同倶楽部のあるべき姿として、「各社が個社で、安全活動等を進めていくだけの力量を持つこと」、「会員各社間および弊社と忌憚のない話し合いができる関係が築けていること」を目指し能力の向上を図っていました。また安全意識調査では、質問：安全ルールを守らなかった理由、では、“ルールを守ろうとすると業務や作業がやり難くなる、できなくなるから”、“急いでいるから、忙しいから”という回答が多数ありました。質問：安全活動で災害防止効果が高い取り組みは？では、“手順書・要領書の安全急所や職場の安全ルールの徹底”、“コミュニケーション”他が挙がっていました。まず、安全意識の向上には対話が重要であり、他社の好事例・失敗事例を共有する双方向コミュニケーションが大切であるとのことでした。第2次活動では、「各社リーダー・キーマンの養成」として、危険のポイントを見つけることができ、他者に指示・指導・教育できるキーマンの育成＝「△KYトレーナー」を養成する。第3次、4次、5次活動では△KYトレーナーを中心に各社の作業員・ドライバーに対して意識の向上。第6次活動では^{とわ}豊環倶楽部における作業の標準化について、第7次活動では作業要領書に準じた作業が行われているか確認し、第8次活動では協力会社のルールの充実化。最後に自身のことである意識づけとして“作業者のレベル感で取り組む”、マンネリ化しがちな安全活動に“新しい視点をつくる”とまとめを述べ、講習会を終えました。